



アカウントの管理 Cloud Manager

Ben Cammett, Tom Onacki
May 05, 2021

目次

アカウントの管理.....	1
テナンシー API を使用してアカウントを管理します	1
ユーザの作成と管理	1
サービスアカウントの作成と管理	5
ワークスペースの管理	8
コネクタのワークスペースを管理する	9
サブスクリプションの管理	9
アカウント内のユーザアクティビティを監査する	10
アカウント名を変更する	10
プライベートプレビューを許可します	10
サードパーティサービスを許可しています	11
SaaS プラットフォームを無効にする	11

アカウントの管理

"初期セットアップを実行したあと"では、後でユーザー、サービスアカウント、ワークスペース、コネクタ、およびサブスクリプションを管理することで、アカウント設定を管理できます。

"Cloud Central アカウントの仕組みの詳細については、こちらをご覧ください"。

テナンシー API を使用してアカウントを管理します

API 要求を送信してアカウント設定を管理する場合は、_Tenancy_API_を使用する必要があります。この API は、作業環境の作成と管理に使用する Cloud Manager API とは異なります。

"テナンシー API のエンドポイントを表示します"。

ユーザの作成と管理

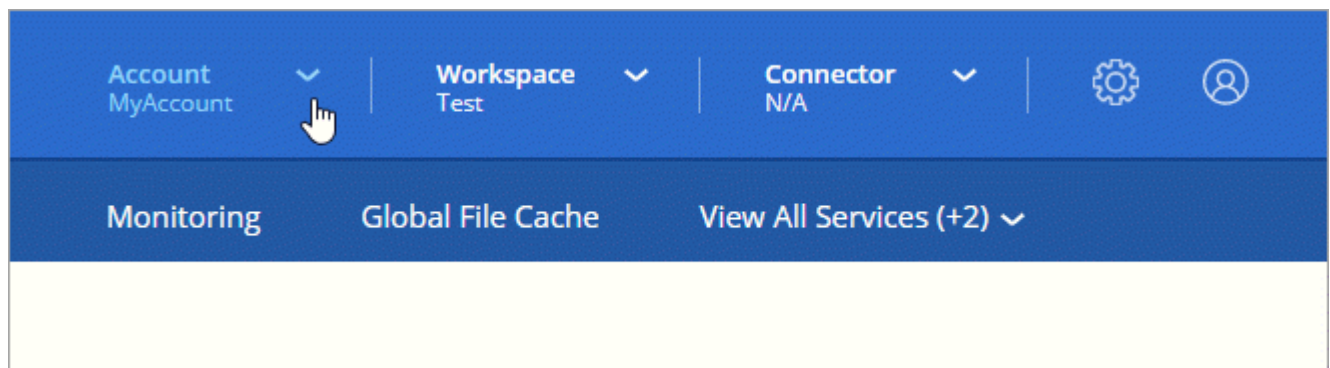
アカウント内のユーザーは、アカウントのワークスペース内のリソースを管理するためにアクセスできます。

ユーザを追加する

Cloud Central ユーザを Cloud Central アカウントに関連付けて、これらのユーザが Cloud Manager で作業環境を作成および管理できるようにします。

手順

1. ユーザーがまだ行っていない場合は、にアクセスするようにユーザーに依頼します ["NetApp Cloud Central"](#) 登録してください。
2. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックします。



3. 現在選択されているアカウントの横にある [* アカウントの管理 *] をクリックします。



4. [ユーザー] タブで、[ユーザーの関連付け] をクリックします。
5. ユーザの E メールアドレスを入力し、ユーザのロールを選択します。
 - * アカウント管理者 * : Cloud Manager で任意の操作を実行できます。
 - * ワークスペース管理者 * : 割り当てられたワークスペースでリソースを作成および管理できます。
 - * Compliance Viewer * : アクセス権を持つワークスペースについてのみ、コンプライアンス情報を表示し、レポートを生成できます。
 - * SnapCenter Admin* : SnapCenter サービスを使用して、アプリケーションと整合性のあるバックアップを作成し、それらのバックアップを使用してデータをリストアできます。 _ このサービスは現在ベータ版です。 _
6. Workspace Admin または Compliance Viewer を選択した場合は、 1 つ以上のワークスペースを選択してそのユーザーに関連付けます。



Associate User

To add a user to your NetApp Cloud Account, that user must already have signed up at [NetApp Cloud Central](#). Enter the email address that they used when signing up with Cloud Central.

User's Email

test@netapp.com

Role

Workspace Admin

Associate User to Workspaces

Workspace-1 X

Cancel

Associate User

7. [ユーザーの関連付け] をクリックします。

ユーザには、NetApp Cloud Central の「 Account Association 」というタイトルの E メールが送信されます。E メールには、Cloud Manager にアクセスするために必要な情報が記載されています。

ユーザの削除

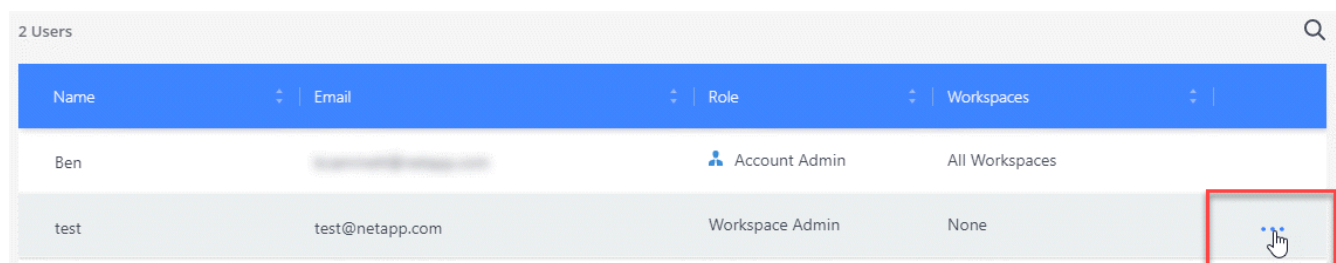
ユーザの関連付けを解除すると、Cloud Central アカウント内のリソースにアクセスできなくなります。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。



2. [ユーザー] タブで、ユーザーに対応する行のアクションメニューをクリックします。



3. [ユーザーの関連付けを解除 (Disassociate User)] をクリックし、[関連付けを解除 (Disassociate)] をクリックして

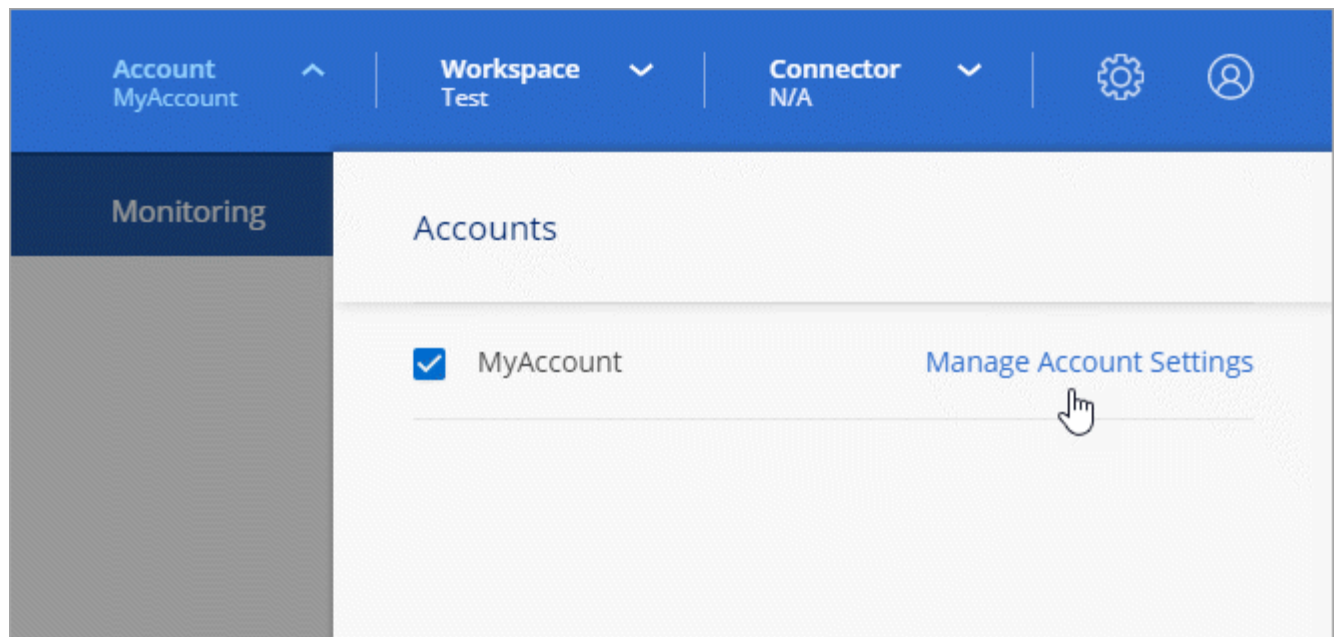
ユーザはこの Cloud Central アカウントのリソースにアクセスできなくなります。

ワークスペース管理者のワークスペースの管理

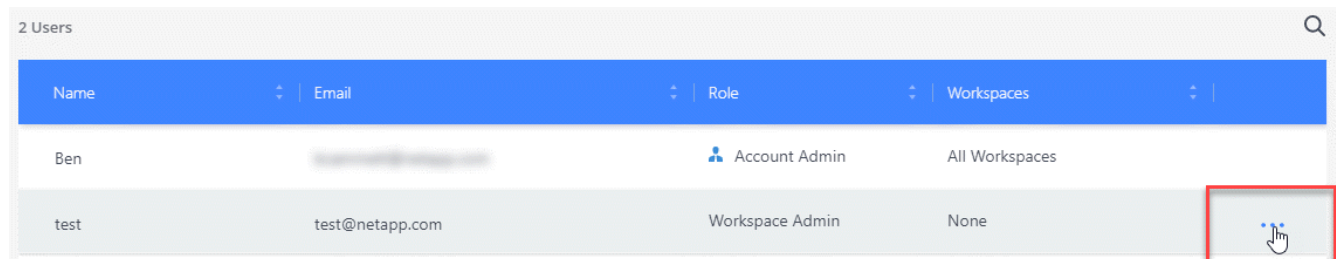
ワークスペース管理者は、いつでもワークスペースに関連付けたり、ワークスペースと関連付けを解除したりできます。ユーザーに関連付けると、ワークスペース内の作業環境を作成して表示できます。

手順

1. Cloud Manager の上部で、 * Account * ドロップダウンをクリックし、 * Manage Account * をクリックします。



2. [ユーザー] タブで、ユーザーに対応する行のアクションメニューをクリックします。



3. * ワークスペースの管理 * をクリックします。

4. ユーザーに関連付けるワークスペースを選択し、* 適用 * をクリックします。

コネクタがワークスペースにも関連付けられていれば、ユーザは Cloud Manager からこれらのワークスペースにアクセスできるようになりました。

サービスアカウントの作成と管理

サービスアカウントは「ユーザ」の役割を果たし、Cloud Manager に対して自動化のための許可された API 呼び出しを実行できます。これにより、自動化スクリプトを作成する必要がなくなります。自動化スクリプトは、会社を離れることができる実際のユーザアカウントに基づいて作成する必要がなくなります。フェデレーションを使用している場合は、クラウドから更新トークンを生成することなくトークンを作成できます。

サービスアカウントには、他の Cloud Manager ユーザと同様にロールを割り当てることで権限を付与します。サービスアカウントを特定のワークスペースに関連付けることで、サービスがアクセスできる作業環境（リソース）を制御することもできます。

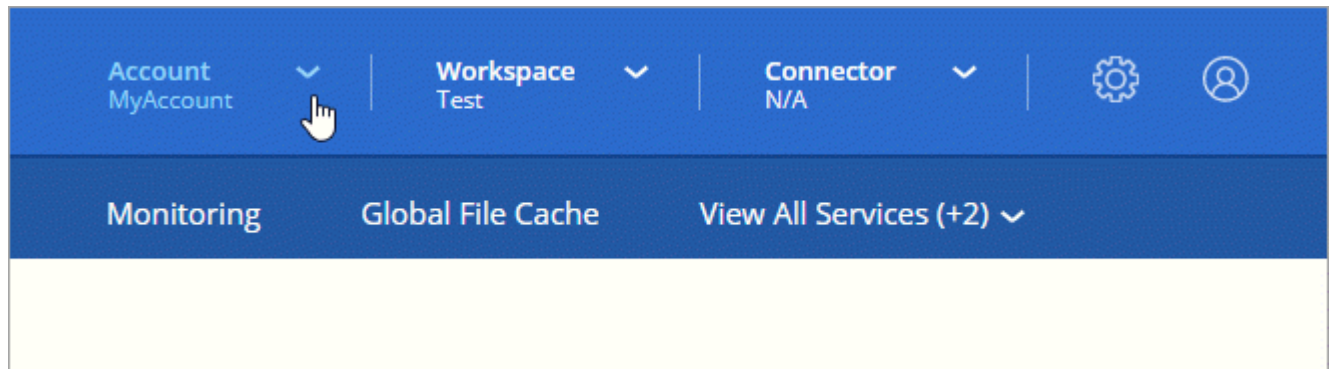
サービスアカウントを作成すると、Cloud Manager でサービスアカウントのクライアント ID とクライアントシークレットをコピーまたはダウンロードできます。このキーペアは、Cloud Manager との認証に使用されます。

サービスアカウントの作成

作業環境でリソースを管理するために必要な数のサービスアカウントを作成します。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックします。



2. 現在選択されているアカウントの横にある [* アカウントの管理 *] をクリックします。



3. [ユーザー] タブで、[* サービスアカウントの作成 *] をクリックします。
4. 名前を入力し、ロールを選択します。Account Admin 以外のロールを選択した場合は、このサービスアカウントに関連付けるワークスペースを選択します。
5. [作成 (Create)] をクリックします。
6. クライアント ID とクライアントシークレットをコピーまたはダウンロードします。

クライアントシークレットは 1 回だけ表示され、Cloud Manager ではどこにも保存されません。シークレットをコピーまたはダウンロードして安全に保管します。

7. [* 閉じる *] をクリックします。

サービスアカウントのベアトークンを取得する

への API 呼び出しを実行するため **"テナンシー API"** サービスアカウントのベアトークンを取得する必要があります。

```
curl --location --request POST 'https://netapp-cloud-account.auth0.com/oauth/token' \
--header 'Content-Type: application/json' \
--data-raw '{
  "grant_type": "client_credentials",
  "client_secret": "<client secret>",
  "audience": "https://api.cloud.netapp.com",
  "client_id": "<client id>"
}'
```

クライアント ID をコピーしています

サービスアカウントのクライアント ID はいつでもコピーできます。

手順

1. [ユーザー] タブで、サービスアカウントに対応する行のアクションメニューをクリックします。



2. [クライアント ID] をクリックします。
3. ID がクリップボードにコピーされます。

キーの再作成中です

キーを再作成すると、このサービスアカウントの既存のキーが削除され、新しいキーが作成されます。前のキーを使用することはできません。

手順

1. [ユーザー] タブで、サービスアカウントに対応する行のアクションメニューをクリックします。



2. [キーの再作成 *] をクリックします。
3. 再作成 * をクリックして確定します。
4. クライアント ID とクライアントシークレットをコピーまたはダウンロードします。

クライアントシークレットは 1 回だけ表示され、Cloud Manager ではどこにも保存されません。シークレットをコピーまたはダウンロードして安全に保管します。

5. [* 閉じる *] をクリックします。

サービスアカウントを削除する

不要になったサービスアカウントを削除します。

手順

1. [ユーザー] タブで、サービスアカウントに対応する行のアクションメニューをクリックします。



2. [削除 (Delete)] をクリックします。
3. 再度 * Delete * をクリックして確定します。

ワークスペースの管理

ワークスペースの作成、名前の変更、および削除により、ワークスペースを管理します。ワークスペースにリソースが含まれている場合、ワークスペースは削除できません。空である必要があります。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。
2. [* ワークスペース *] をクリックします。

3. 次のいずれかのオプションを選択します。

- 新しいワークスペースを作成するには、* 新しいワークスペースを追加 * をクリックします。
- * 名前変更 * をクリックして、ワークスペースの名前を変更します。
- ワークスペースを削除するには、* 削除 * をクリックします。

コネクタのワークスペースを管理する

ワークスペース管理者が Cloud Manager からワークスペースにアクセスできるように、コネクタをワークスペースに関連付ける必要があります。

アカウント管理者のみがいる場合は、コネクタをワークスペースに関連付ける必要はありません。アカウント管理者は、デフォルトで Cloud Manager のすべてのワークスペースにアクセスできます。

["ユーザー、ワークスペース、コネクタの詳細をご覧ください"](#)。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。
2. コネクタ（* Connector ）をクリックします。
3. 関連付けるコネクタの * ワークスペースの管理 * をクリックします。
4. コネクタに関連付けるワークスペースを選択し、* 適用 * をクリックします。

サブスクリプションの管理

クラウドプロバイダのマーケットプレイスからサブスクライブすると、各サブスクリプションはアカウント設定ウィジェットから利用できます。サブスクリプションの名前を変更したり、1 つまたは複数のアカウントからサブスクリプションの関連付けを解除したりすることができます。

たとえば、2 つのアカウントがあり、それぞれが別々のサブスクリプションで課金されるとします。いずれかのアカウントとサブスクリプションの関連付けを解除することで、Cloud Volume ONTAP 作業環境の作成時にそのアカウントのユーザが誤って誤ったサブスクリプションを選択しないようにすることができます。

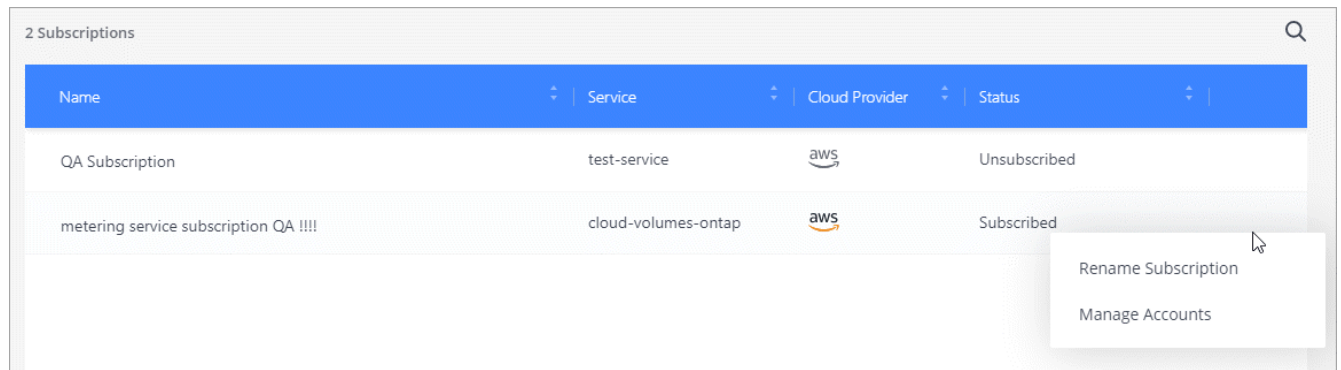
["サブスクリプションの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。
2. [サブスクリプション] をクリックします。

現在表示しているアカウントに関連付けられている月額プランのみが表示されます。

3. 管理するサブスクリプションに対応する行のアクションメニューをクリックします。



Name	Service	Cloud Provider	Status
QA Subscription	test-service	aws	Unsubscribed
metering service subscription QA !!!!	cloud-volumes-ontap	aws	Subscribed

- サブスクリプションの名前を変更するか、サブスクリプションに関連付けられているアカウントを管理するかを選択します。

アカウント内のユーザアクティビティを監査する

Cloud Manager のタイムラインには、アカウントの管理用にユーザが完了した操作が表示されます。これには、ユーザの関連付け、ワークスペースの作成、コネクタの作成などの管理操作が含まれます。タイムラインのチェックは、特定のアクションを実行したユーザーを特定する必要がある場合や、アクションのステータスを特定する必要がある場合に役立ちます。

手順

- [* すべてのサービス > タイムライン *] をクリックします。
- [フィルタ] で、[サービス *]、[テナント *] の順にクリックし、[適用 *] をクリックします。

タイムラインが更新され、アカウント管理アクションが表示されます。

アカウント名を変更する

アカウント名はいつでも変更して、わかりやすい名前に変更してください。

手順

- Cloud Manager の上部で、 * Account * ドロップダウンをクリックし、 * Manage Account * をクリックします。
- 「 * 概要 * 」タブで、アカウント名の横にある編集アイコンをクリックします。
- 新しいアカウント名を入力し、 * 保存 * をクリックします。

プライベートプレビューを許可します

アカウントでプライベートプレビューを有効にすると、Cloud Manager でプレビュー版として提供される新しい NetApp クラウドサービスにアクセスできるようになります。

プライベートプレビューのサービスは、期待どおりに動作することが保証されておらず、サービスが停止したり、機能しなくなったりする可能性があります。

手順

- Cloud Manager の上部で、 * Account * ドロップダウンをクリックし、 * Manage Account * をクリックします。

2. [* 概要 *] タブで、[* プライベートプレビューを許可する *] 設定を有効にします。

サードパーティサービスを許可しています

アカウント内のサードパーティサービスが、Cloud Manager で使用可能なサードパーティサービスにアクセスできるようにします。サードパーティのサービスはクラウドサービスとネットアップが提供するサービスに似ていますが、サードパーティが管理とサポートを行っています。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。
2. [* 概要 *] タブで、[* サードパーティサービスを許可する *] 設定を有効にします。

SaaS プラットフォームを無効にする

会社のセキュリティポリシーに準拠するために必要な場合を除き、SaaS プラットフォームを無効にすることはお勧めしません。SaaS プラットフォームを無効にすると、ネットアップの統合クラウドサービスを使用できなくなります。

SaaS プラットフォームを無効にすると、Cloud Manager から次のサービスを使用できなくなります。

- クラウドコンプライアンス
- Kubernetes
- クラウド階層化
- グローバルファイルキャッシュ

SaaS プラットフォームを無効にする場合は、からすべてのタスクを実行する必要があります ["コネクタで使用するローカルユーザインターフェイス"](#)。



これは元に戻すことができない操作であり、Cloud Manager SaaS プラットフォームを使用できなくなります。ローカルコネクタからアクションを実行する必要があります。ネットアップの統合クラウドサービスの多くを利用することはできません。また、SaaS プラットフォームを再度有効にするには、ネットアップのサポートが必要になります。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。
2. [概要] タブで、SaaS プラットフォームの使用を無効にするオプションを切り替えます。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.